

臨床をしながら研究をしよう 統計の裏技とSPSSの使い方

こんなあなたにぴったり

自分の臨床データをまとめて学会で発表してみたい

病院・クリニックのサービス向上に役立つ資料を集めてレポートを書いてみたい

日常のデータ収集をもっと科学的にしてみたい

最新研究論文を読んで、その統計結果を読めるようになりたい

内容の詳細はメールでお問い合わせください

2017年度

入門コース				中級コース		
第1回	5月4日(祭)	9:45 - 16:45	変数の変換, 研究計画書	9月17日(日)	9:45 - 16:45	重回帰分析
	5月5日(祭)	9:15 - 16:15	臨床評価の信頼性	9月18日(祭)	9:15 - 16:15	介在変数とその重回帰分析による証明
第2回	6月10日(土)	9:45 - 16:45	スクリーニング法の妥当性	10月8日(日)	9:45 - 16:45	探索的因子分析
	6月11日(日)	9:15 - 16:15	chi-squared test	10月9日(祭)	9:15 - 16:15	確認的因子分析
第3回	7月16日(日)	9:45 - 16:45	t test, one-way ANOVA	11月2日(木)	9:45 - 16:45	パス解析と共分散構造分析
	7月17日(祭)	9:15 - 16:15	Pearson 相関係数, 偏相関係数	11月3日(祭)	9:15 - 16:15	介在変数とSEMを用いた計算

上級コース			
第1回	1月7日(日)	9:45 - 16:45	検出力分析, 欠損値の多重代入法
	1月8日(祭)	9:15 - 16:15	クラス分析, 複雑な共分散構造分析

上級コースでは……

研究をする際の被検者数の設定方法(検出力分析), 欠損値がある場合の最新処理方法(多重代入法), SEMの最新技法について教えます

医療・福祉・教育現場で働いている医師・看護師・助産師・保健師・ケースワーカー・心理士・保育士の皆さんが、御自分の疑問について研究デザインを組んで、データを収集し、パソコンに入力してから、統計法も使って解析し、結果を報告できるようになるための連続研修会です。研究デザイン・使用する尺度・統計法・レポートの書き方は表裏一体です。最初に架空のデータセット(事例は産後うつ病)を準備し、これをもとに実例を基礎に研究と統計の基礎を、ミニレクチャーとSPSSの実習を通じて学びます。数学の専門家はだれも教えてくれなかった「裏技」を教授します。

主催: 北村メンタルヘルス学術振興財団

151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-26-3 富ヶ谷リバーランドハウス A棟

E-mail info@kitamura-foundation.org

ホームページ <http://www.kitamura-foundation.org>

共催: 日本周産期メンタルヘルス学会

「臨床で働きながら研究をしよう: 統計の裏技とSPSSの使い方」(弊社発行)無料贈呈

会場: 北村メンタルヘルス学術振興財団 会議室
(地下鉄千代田線・代々木公園駅、代々木上原駅、小田急線・代々木八幡駅、代々木上原駅、井の頭線・駒場東大前駅から徒歩13分)

参加費: (いずれも当日教材費込み: 円)

	一般	会員*
入門のみ	120,000	100,000
中級のみ	120,000	100,000
上級のみ	45,000	40,000
入門+中級	210,000	180,000
中級+上級	150,000	120,000
3コース一括	240,000	200,000

* 日本周産期メンタルヘルス学会会員特価

講師: 北村 俊則 (北村メンタルヘルス研究所 所長 熊本大学大学院元教授 ワシントン大学《セント・ルイス》客員教授)
登録: メールにてご連絡ください(電話での登録はできません)。仮登録の後、参加費の事前入金を確認しての正式の登録になります。

キャンセルポリシー: 開催初日の10日前までのキャンセルは無料です。以降前日までのキャンセルは参加費の50%をキャンセル料として申し受けます。